

## [成果情報名] 棚栽培におけるスモモ「サマーエンジェル」、「サマービュート」の管理方法

[要約] 棚栽培の冬季剪定で、「サマーエンジェル」は一年枝を1/2剪除、「サマービュート」は2/3剪除すると高品質な果実を生産できる状態が維持される。「サマービュート」は特に負け枝で変形果の発生が多くなるが、見直し摘果に重点をおいて摘果すれば軽減できる。

[担当] 果樹試・栽培部・落葉果樹栽培科・富田 晃

[分類] 技術・普及

---

### [背景・ねらい]

スモモは、棚で栽培すると作業が省力化でき、果実品質が均一化するメリットがある。「サマーエンジェル」、「サマービュート」を安定的に栽培できるようそれぞれの品種特性に応じた棚仕立ての管理技術を確立する。

### [成果の内容・特徴]

1. 「サマーエンジェル」は新梢の発生が少ないが、冬季剪定で一年枝の長さを1/2剪除すると中間部にも新梢が多く発生する。果実品質に影響はない（表1、図1）。
2. 「サマービュート」は冬季剪定の切り詰めが弱いと、先端部から発生する新梢が弱くなる。冬季剪定で一年枝の長さの2/3を剪除し、1/3を残すと、先端部から勢力のある新梢が発生する。1/2剪除では先端の勢力が不足する（表1、図1）。
3. なお、「サマービュート」では変形果が発生するが、特に、負け枝になると発生が多いため、適正な樹勢の維持に努める（表2、図2）。
4. 満開後50～60日後の仕上げ摘果時には1.5倍ほど多く果実を残し、5～7日後に変形果を中心に見直し摘果を行えば、最終的な変形果を軽減できる（表3）。

### [成果の活用上の留意点]

1. 若木の時は新梢が旺盛に伸びるので、切り返しの程度を樹勢や地力に応じて加減する。
2. 適正な着果量を守り、樹勢の維持に努める。
3. 立ち木仕立てにおいても、冬季剪定で一年枝を「サマーエンジェル」は1/2剪除、「サマービュート」は2/3剪除すると、高品質な果実を生産できる状態が維持される。

### [期待される効果]

「サマーエンジェル」、「サマービュート」の棚仕立て栽培により、スモモ栽培の作業の省力化と果実品質の均一化に寄与できる。

[具体的データ]

表1 冬季剪定の切り詰め程度が新梢の発生と果実品質に及ぼす影響 (2011~2012)

品 種	剪定程度	発生分布(%)			新梢長(cm)			果実重 (g)	糖度 (Brix)
		先端部	中間部	基部	先端部	中間部	基部		
サマーエンジェル	2/3剪除	86.9	9.5	3.8	51.4	11.3	2.8	138.2	15.8
	1/2剪除	74.3	21.2	4.6	41.0	26.5	3.2	137.9	16.1
	1/4剪除	52.3	32.4	15.4	22.1	28.0	29.6	138.0	16.0
サマービュート	2/3剪除	57.8	20.7	11.8	74.0	23.9	8.0	178.3	15.1
	1/2剪除	43.4	25.6	24.0	49.7	28.6	21.2	185.0	15.2

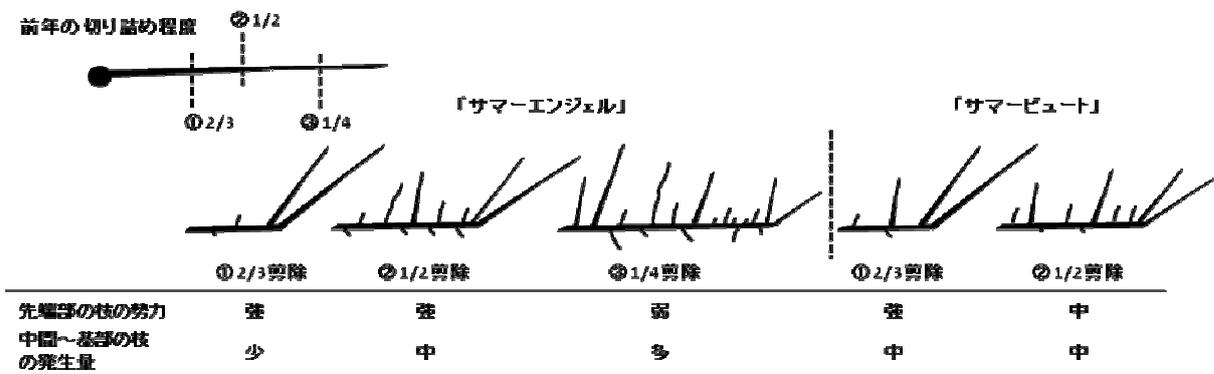


図1 切り詰め程度と新梢発生状況の関係(模式図)  
 「サマーエンジェル」は、1/2剪除で中間部に新梢が多く発生する。  
 「サマービュート」は切り詰めが弱いと、先端から発生する新梢が弱くなる。

表2 サマービュートにおける負け枝と変形果の関係

年次	変形果の発生率(%)	
	正常な枝	負け枝
2010	13.8	34.0
2011	41.1	83.4
平均	27.5	58.7

負け枝: 強勢枝により弱くなった先端枝  
 変形果: 果形が乱れ、商品性を損なう果実

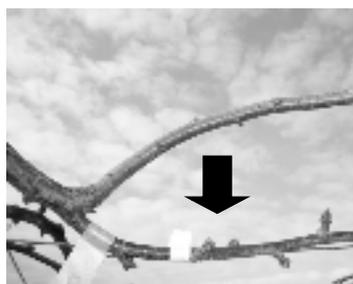


図2 「サマービュート」の負け枝

表3 摘果方法による変形果の軽減(サマービュート、2012)

摘果方法	変形果発生率(%)
改良*	25.4
慣行	45.4

\* 改良の摘果方法は、仕上げ適時に1.5倍ほど多く果実を残し、さらに変形果を取り除いた

[その他]

研究課題名: サマービュート・サマーエンジェルの棚仕立て技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2008~2012年度

研究担当者: 富田 晃、萩原栄揮、山下(土橋)路子、新谷勝広